

若手自力型の競演

佐世保競輪場開設69周年記念「九十九島賞争奪戦」は、12月5日〜8日の日程で開催される。5班は村上義弘、武田豊樹の2名だが、太田竜馬、吉田拓矢、野原雅也らスピード豊かな自力型がズラリとそろっている。勝ち上がり戦から激しいスピードバトルが繰り広げられよう。地元が盛り上がり、地元が盛り上がる。4Vを目指す井上昌己は中本匠栄、荒井崇博らと九州ラインを組んで他地区の強豪を迎え撃つ。また、最終日第9レースにてレインボーカップ・チャレンジファイナルが行われる。第115期生の健脚による一発勝負にも注目だ。

各地域に主力が分散し、優勝のゆくえは混とんとしている。狙いは絞りきれないが、勢いなら吉田拓矢が



吉田拓矢

一番だ。11月西武園で今年4V目を飾って臨んだ競輪祭では①③③③着。好タイムのまくりを連発して一次予選1、2を連勝すると、3走目以降は一転して先行で勝負。ダイヤモンドレース、準決ではレースを支配して粘り込み、17年の高松宮記念杯以来のG1優等を果たした。完全に仕上がっており、持ち味の鋭いダッシュを生かした攻めの走りで記念初Vを目指す。武田豊樹は9月岐阜記念での落車から欠場が続いていて、ここから復帰する予定。吉田のデキがいいので、好展開が巡ってくる可能性はある。ただ、いくら武田でもいきなり好勝負は厳しいか。

井上昌己は地元記念に向けて確実に調子を上げている。最近では自力を多用しているし、結果も出している。10月弥彦①②①着、競輪祭は予選を②①着でダイヤモンドレースに駒を進めた。一次予選2では、清水裕の上がり11秒2の快速まくりを余裕で差して、自慢のスピードを遺憾なく発揮している。当大会は61、64、65周年と3Vを達成しているものの、一昨年、昨年は決勝に乗るも4V目は成らなかった。今年こそはの気持ち強く持っているはず。10月京王閣記念をV、親王牌、競輪祭とG1を連続優勝と絶好調な和田健太郎もV候補。山中秀将、桐山敬太郎も競輪祭での動きは良かったし、昨年度大会覇者の五十嵐力も健在とあって、南関勢も役者がそろっている。



井上昌己

怪物は目の前にいる。

開催69周年記念 佐世保競輪
九十九島賞争奪戦[GⅢ]
2019/12/5(木)6(金)7(土)8(日)

佐世保競輪



太田竜馬

野原雅也、村上義弘、山田久徳、古性優作、野原雅也と実力者がそろった近畿勢も侮れない勢力だ。軸になるのは古性だ。今の自分の脚力ではG1を獲得に來たとは言えない」と振り返った競輪祭でも3度の確定板入り。タテヨコ厳しい走りでも存在感を発揮した。村上も一時期よりは上向いている感があるし、野原はF1戦ながら連対率が急

さらに小松崎大地も乗れていて一発秘める。

主力メンバー ※2019年11月25日現在															
氏名	登録地	期別	競走得点	氏名	登録地	期別	競走得点	氏名	登録地	期別	競走得点	氏名	登録地	期別	競走得点
井上昌己	徳島	86期	179m81	太田竜馬	徳島	77期	170m80	村上義弘	福井	73期	166m76	野原雅也	福井	103期	166m65
113.08	112.33	111.14	114.25	109.68	109.31	116.40	114.70	106.60	110.52	114.98	115.04	113.50	106.69	108.62	111.87
111.90	112.83	113.50	113.71	107.68	109.25	115.08	115.18	108.86	111.90	112.83	113.50	113.71	107.68	109.25	115.08
...

佐世保記念 出場予定選手														
級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点
S2	須藤直道	群馬	68期	92.50	S2	武藤篤弘	埼玉	95期	101.14	S2	小原丈一郎	青森	115期	78.50
...